

皆様の声をお聞かせ下さい。ご意見はFAXにて。

ホームページを開設しました。アドレスは <http://www.yasuoka.org/> です。



鹿児島県の経済を支える農業を守る!! ～WTO交渉決裂～

7月29日、貿易自由化に関するWTO交渉が決裂しました。農産物のいっそうの貿易自由化を迫るWTO交渉議長案は、農産物への高率な関税を例外的に認める「重要品目」を大幅に削減するもので、もし実現していたとすれば、ただでさえ肥料や飼料などの価格高騰でとても厳しい状況に追い込まれている鹿児島をはじめとする日本の農業が、無防備な状態で国際競争にさらされ、重大な打撃を受けるところでした。ここ数日間こうした議長案についてのWTO合意の見通しがささやかれていたさなか、わたしは、急遽2日間にわたって上京し、鹿児島、沖縄、北海道の国会議員の先生などと会合をもち、ジュネーブに直接電話をし、甘利経産大臣をはじめ、交渉にあたる関係者に電話するなど、鹿児島の砂糖やでんぷん等の農業を守るため必死な要請を続けました。下記は、こうした経緯の一幕について山田俊男先生がまとめられ配信したものです。今回は、WTO交渉決裂により鹿児島の農業の危機がとりあえず回避されましたが、わたしは、今後も引き続き鹿児島の経済を支える農業を守るために全力でがんばってまいります。

WTO緊急対策にかかる電話要請について

保岡興治先生を中心に、(ジュネーブで交渉中の)谷津・西川両先生に対して、以下の要請(3県国会議員の意向を踏まえた要請)を行いました。

1. 日時 平成20年7月29日(火) 15:05～15:40
2. 場所 党本部幹事長室
3. 出席者 保岡興治先生、中川義雄先生、山田俊男 (原文のまま)
4. 概要

(1) 谷津先生への要請

- 保岡先生より、①昨日より北海道、鹿児島、沖縄の先生方が砂糖・でんぷんの状況を憂慮していること、②このままの内容で妥結しては国会で批准できないうえに政権交代すら危惧されること、③南のサトウキビは輸作も転作も困難であり、重要品目にならないと地域経済が壊滅してしまうこと等を説明のうえ、「これらを腹に納めて、さらに頑張って欲しい」と要請した。
- 谷津先生からは、「ブラジル、アメリカ、豪州に働きかけている。ブラジルは「豪州がOKなら良い」との感触を得ている。アメリカは「コメを民間貿易に」と言っているが、とんでもない。豪州からはまだ条件が示されていない」との話があった。

(2) 西川先生への要請

- 保岡先生より「何が何でも砂糖とでんぷんは守るということで頑張って欲しい」と要請したところ、西川先生より「全力で交渉に当たる」と力強い回答があった。

(3) 白須農水次官への連絡

- 保岡先生、中川義雄先生より、谷津・西川両先生への要請を伝えるとともに、「交渉を行っている農水省と大臣、そして党との間に齟齬が生じないように、しっかり情報を伝えるなど、万全の体制で臨んで欲しい」と伝えた。

以上

●保岡興治著書「政治主導の時代」～中央公論新社～2100円(税込み) 大手本屋にて好評発売中!

●映画「チェスト」好評上映中～桜島錦江湾横断遠泳を通じ少年達が成長していく感動的なドラマです。

保岡代議士もPTA会長役で出演しています!